



平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コネクトホールディングス
コード番号 3647 URL <http://connect-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO) (氏名) 長倉統己

問合せ先責任者(役職名) 経営管理本部長 (氏名) 矢野浩司

TEL 03-3796-0650

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	1,110	△20.1	33	—	24	—	20	—
24年8月期第3四半期	1,389	214.8	△120	—	△93	—	△94	—

(注)包括利益 25年8月期第3四半期 20百万円 (—%) 24年8月期第3四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	0.39	0.39
24年8月期第3四半期	△2.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第3四半期	556	282	282	122	50.6	5.39
24年8月期	703	122	122	—	17.1	2.46

(参考)自己資本 25年8月期第3四半期 282百万円 24年8月期 120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,746	△5.2	32	—	30	—	43	—	0.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社コネクテクトテクノロジーズ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期3Q	52,374,951 株	24年8月期	48,848,949 株
25年8月期3Q	— 株	24年8月期	— 株
25年8月期3Q	51,945,436 株	24年8月期3Q	47,204,224 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州諸国を発端とする財政問題が長期化する中、中国をはじめとした新興国経済の減速が続いており、依然として不安定な状況が続いております。

また、国内経済は、新政権への期待による円高の是正や株価上昇により、景気の先行きに対する期待感が広がってまいりましたが、中国における反日感情の高まりから対中輸出の減少や、資源高などの影響により国内経済の先行きは依然不透明な状況が続いており、長期化する景気低迷から消費者の購買意欲も低迷しております。

当社グループを取り巻く環境といたしましては、株式会社SBYで展開するサービス事業（ビジネスアライアンス及びコンテンツ・ブランド並びにコンセプトマーケティングショップ）は、C2及びF1層女性向け市場を対象としており、当市場の多くは独身者であり時間のゆとりがあること、また、家族世帯者より自由に消費に使える金額が多く、景気悪化の影響を受けにくい流行に敏感な市場であります。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,110百万円（前年同四半期比20.1%減）、経常利益は24百万円（前年同四半期は経常損失93百万円）と前第3四半期連結累計期間との対比では大幅な利益向上となり、経常利益で前第4四半期連結会計期間より継続して黒字を達成しております。

また、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間において、特別利益として株式会社コネクテックテクノロジーズの全株式を売却したことによる関係会社株式売却益23百万円を計上する一方、特別損失としてフロア移転に伴う減損損失8百万円、事務所移転費用13百万円を計上し、また、岐阜支店縮小に伴う原状回復費用及び固定資産除却損等による事業整理損4百万円を計上した結果、四半期純利益は20百万円（前年同四半期は四半期純損失94百万円）となりました。

売上高についてサービス区別別に説明いたしますと、次のとおりであります。

① ビジネスアライアンス及びコンテンツ・ブランド

ビジネスアライアンス及びコンテンツ・ブランドにつきましては、C2及びF1層女性向け市場において特定の業界だけではなく、幅広い業界に対して、独自に収集分析したトレンド情報及び独自開発したトレンドをリアルタイムに商品の企画、開発、広告宣伝計画及び販売促進計画の立案実施業務等に活用し常に時代の感性を先取りした提案を行っております。

当第3四半期連結累計期間のビジネスアライアンスにおける主な実績といたしましては、プロデュース契約をしております総合アパレルブランド「GROWZE LOS ANGELES」のSHIBUYA109への出店に関する店舗開発（出店立地提案、店内装飾提案、販売品種提案等の総合開発。）を行いました。

また、コンテンツ・ブランドにおける主な実績といたしましては、つけまつげブランド「Diamond Lash」に続いて、新ブランド「Purish」（ピューリッシュ）の販売をスタートし、プランタン銀座他5店舗で期間限定ポップアップストアを出店し、6月には海外初となる台湾の老舗百貨店「太平洋SOGO」にポップアップストアを出店することが決定いたしました。本ブランドは国内外同時デビューを予定しており、現在各国の販売代理店との営業活動を進めております（対象国：アメリカ・台湾・香港・韓国・シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア）。更に2月にスタートいたしましたキャラクターライセンス事業の第一弾である「カラブル」におきましてはプリントシール業界最大手のフリー株式会社他、多岐にわたる企業とのコラボレーションを行っております。

この結果、当サービスの売上高は718百万円となりました。

今後、台湾は元より更にアジアの各国のニーズに応えた商品の企画、開発、広告宣伝計画及び販売促進計画の立案実施業務等の展開並びに「Diamond Beauty」、「Purish」、「カラブル」ブランドの浸透及び流通を目指してまいります。

② コンセプトマーケティングショップ

コンセプトマーケティングショップにつきましては日本を代表する流行最先端都市「渋谷」＝SBY（SHIBUYA）をブランドネームとし、その中核店舗は「アタラシモノ発見☆カフェ」をコンセプトにSHIBUYA109の8Fで運営しております。

同サービスは単なる店舗販売事業ではなく、最先端の情報が揃う店舗型の情報発信スペースであり、流行に敏感な女性の心を掴み、夢中にさせる総合エンターテインメントを追求することにより、SBYから生まれた情報・商品がメディアや流通等のインフラに乗り、全国へ/世界へ発信されております。

出退店につきましては、2012年3月に「SBY SHIBUYA109店」内にインショップという形でOPENしましたコスメショップ「WoMANiA」を梅田OPA（大阪市北区）に出店した結果、当第3四半期連結会計期間末における当社の店舗数は直営店4店舗、FC店2店舗となっております。

当サービスが取り扱う商品の多くは低価格帯であり、主要顧客がC2及びF1層女性であることから不景気下でも影響を受けにくいサービスであります。

この結果、当サービスの売上高は392百万円となりました。

なお、前連結会計年度におけるシステムソリューション事業及び環境エネルギー事業は株式会社コネクテックテクノロジーズにて展開しておりましたが、平成24年9月1日付にて同社全株式を譲渡したため、当事業から撤退しております。そのため、当第3四半期連結累計期間においてはサービス事業（ビジネスアライアンス及びコンテンツ・ブランド並びにコンセプトマーケティングショップ）の単一セグメントとなりました。また、第1四半期連結会計期間より、従来の「物販事業」から「サービス事業」へとセグメントの名称を変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から147百万円減少し、556百万円となりました。これは長期未収入金が129百万円減少、投資有価証券が72百万円減少、長期貸付金が30百万円減少する一方、貸倒引当金が172百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から306百万円減少し、274百万円となりました。これは有利子負債が224百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から159百万円増加し、282百万円となりました。これは資本金が70百万円増加、利益剰余金が7,313百万円増加する一方、資本剰余金が7,222百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりませんが、修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社でありました株式会社コネクテックテクノロジーズは、全株式を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益又は当期純損失(△)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益又は四半期純損失(△)に見積実効税率を乗じております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで営業損失を計上していたため、当社グループには継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しておりますが、前連結会計年度において、第4四半期連結会計期間における営業損益は大幅に改善し、営業キャッシュ・フローについては、第2四半期連結累計期間までの実績が76百万円のマイナスであったところ、連結会計年度後半に大幅に改善し、通期実績では収支がほぼ均衡する水準までの回復を果たしました。

当第3四半期連結累計期間におきましても、前連結会計年度より実施しているグループの選択と集中による施策が寄与し、収益基盤が安定したことから営業利益は33百万円（前年同四半期は営業損失120百万円）と大幅に改善し、経常利益におきましても、前第4四半期連結会計期間、第1四半期連結会計期間及び第2四半期連結会計期間並びに当第3四半期連結会計期間と連続して黒字を達成しております。

以上のように既に実施している施策の効果が現れていることに加え、手元資金も十分確保されており資金繰りの目処もたっていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しており、「継続企業の前提に関する注記」の記載をしておりません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,396	47,886
受取手形及び売掛金	67,723	57,018
商品及び製品	68,940	112,750
未収入金	145,021	93,534
その他	40,873	25,601
貸倒引当金	△28,009	△9,159
流動資産合計	397,945	327,631
固定資産		
有形固定資産	59,007	75,600
無形固定資産		
のれん	88,582	70,042
リース資産	7,564	—
その他	17,642	12,010
無形固定資産合計	113,789	82,052
投資その他の資産		
投資有価証券	72,739	—
長期未収入金	142,433	12,771
長期貸付金	30,209	—
敷金及び保証金	58,255	57,498
その他	2,022	1,378
貸倒引当金	△172,434	△181
投資その他の資産合計	133,226	71,467
固定資産合計	306,023	229,121
資産合計	703,969	556,753
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,155	66,912
短期借入金	225,563	40,000
1年内返済予定の長期借入金	40,326	38,823
未払金	75,649	55,232
前受金	40,526	9,223
リース債務	2,543	—
未払法人税等	3,317	1,229
その他	21,414	4,059
流動負債合計	487,496	215,480
固定負債		
長期借入金	86,126	57,119
リース債務	5,731	—
その他	2,000	2,000
固定負債合計	93,857	59,119
負債合計	581,354	274,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	261,562	332,262
資本剰余金	7,560,794	338,261
利益剰余金	△7,702,116	△388,369
株主資本合計	120,239	282,154
新株予約権	2,375	—
純資産合計	122,614	282,154
負債純資産合計	703,969	556,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,389,878	1,110,800
売上原価	631,942	498,437
売上総利益	757,936	612,363
販売費及び一般管理費	878,307	579,357
営業利益又は営業損失(△)	△120,371	33,005
営業外収益		
受取利息	582	334
為替差益	1,398	—
出向負担金収入	26,853	—
消費税免除益	10,169	—
貸倒引当金戻入額	521	2,150
設備賃貸料	—	1,311
償却債権取立益	—	2,600
その他	2,579	1,822
営業外収益合計	42,105	8,219
営業外費用		
支払利息	10,343	3,340
貸倒引当金繰入額	22	—
支払手数料	3,373	11,710
その他	1,262	1,178
営業外費用合計	15,001	16,228
経常利益又は経常損失(△)	△93,267	24,995
特別利益		
関係会社株式売却益	12,195	23,328
投資有価証券売却益	770	—
特別利益合計	12,966	23,328
特別損失		
減損損失	8,496	8,393
投資有価証券評価損	3,280	—
事務所移転費用	—	13,332
事業整理損	—	4,025
その他	—	641
特別損失合計	11,777	26,392
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92,078	21,931
法人税等	2,180	1,417
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△94,259	20,514
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△94,259	20,514

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△94,259	20,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△919	—
その他の包括利益合計	△919	—
四半期包括利益	△95,178	20,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,178	20,514
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成24年9月3日から平成24年11月8日までの間に、Brilliance Hedge Fund(ブリランス・ヘッジ・ファンド)、Brilliance Multi Strategy Fund(ブリランス・マルチ・ストラテジー・ファンド)及びアルバース証券株式会社による新株予約権行使がありました。

また、当社の連結子会社であった株式会社コネクトテクノロジーズを第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外したことに伴い、利益剰余金が増加し、資本剰余金が減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が70,700千円、利益剰余金が7,313,746千円増加し、資本剰余金が7,222,532千円減少しております。

(5) セグメント情報等

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1, 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	システムソ リューション 事業	環境エネル ギー事業	物販事業	エンタテイ ンメント事 業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,077	469	1,286,623	23,621	1,387,792	2,085	1,389,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,053	—	—	—	11,053	△11,053	—
計	88,131	469	1,286,623	23,621	1,398,846	△8,968	1,389,878
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△86,113	△7,643	134,516	△10,203	30,556	△150,927	△120,371

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額2,085千円は、非連結子会社からの経営指導料等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△150,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△139,874千円及びセグメント間取引消去11,053千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「システムソリューション事業」セグメントにおいて、収支計画の見直しを行った結果、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において8,496千円であります。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年5月31日)

平成24年3月6日にエンタテインメント事業を営む株式会社ゲットバック・エンタテインメントの全株式、及び平成24年9月1日にシステムソリューション事業並びに環境エネルギー事業を営む株式会社コネクトテクノロジーズの全株式を譲渡したことから、当社グループは、第1四半期連結会計期間より、サービス事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。

また、第1四半期連結会計期間より、従来の「物販事業」から「サービス事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。